



■大人になるほど退化する。師走は何かと忙^{せわ}しく出入金が多いため銀行に歩いて行った。コンビニの横を通り横断歩道の赤信号で待つこと1分。そこに若い女性が車の来ない道路を渡っていった。赤信号を渡ってはいけないことは、小学生でも知っている。事実、小学生の多くは赤信号を守っている。ところが分別あるはずの大人が守らない。■なぜなのだろうか。分別とは、わかっていることではなさそうだ。わかったことを実行できるということだろう。正しいことを知っていても「今は車が来ていないから大丈夫」と自分勝手な解釈でルールや法を破っている、身勝手な実に自己中心的な行動である。生徒だったら大声で注意しているかもしれない。知らない大人には注意をしない、どこかに勝手な解釈があるのかもしれない。■卒業式で小学生が大騒ぎする話は聞いたことがない。しかし、大人になった途端、成人式で大騒ぎするのも同じことのような気がする。つまり大人になればなるほど退化する。最近、切れる熟年者の話題も気がかりだ。突然切れて当り散らすという話も。銀行を後にして帰る途中、若いお母さんが幼児の横にしゃがみ横断歩道を注意深く見ている。やがて青になり仲良く手をつないで渡っていった。ドライバーの眼差しも暖かく見守っている。平成も間もなく終わりに近づいてきたが、悪いことだけが退化し、いいところは進化したいものだ。2017. 12. 22